

県立足柄ふれあいの村

新型コロナウイルス感染防止に対応した受入マニュアル 新旧対照表

改訂後	改訂前
<p>(6) 食事提供について（日帰り・宿泊共通） <u>○室内食（ビュッフェ）（朝食・夕食共通事項）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食堂用スリッパは撤去する。必要であれば室内履き等をご持参頂く。 ・ 食堂に入室後、手洗いの後、手指の消毒を行う。 ・ 喫食時のみマスクを外し、食後直ぐにマスクを着用する等、「MASK 飲食」及び「黙食」を推奨、推進する。 ・ <u>過度な密を避けるため、食堂内の定員を、概ね 100 名から 120 名程度とし、これを超える人数については入替とするが、様々な状況により、団体との調整及び合意の上、これ以上の定員での受入も可能とする。</u> ・ 喫食時の対面を避ける配席（テーブルの片側のみや、交互での配席等）を推奨する。 ・ <u>喫食時間は、入室から配膳、片付までを 45 分間とし、次の利用団体への入替と消毒作業のため、10 分間のインターバルを置く。</u> ・ 原則として、1 団体で占有利用することを基本とするが、家族利用や小グループ利用が重なる場合には、十分な距離を確保した配席により、同時利用を可とする。 ・ 配食は各団体及び家族・グループ毎に料理を入れた食缶（入れ物）で提供し、盛り付けやおかわりの際は、マスクを着用の上、手指を消毒してから各人で行う。（取り分け用のトング等は適宜交換を行う） ・ <u>レーンからの配食は、1 団体が占有して</u> 	<p>(6) 食事提供について（日帰り・宿泊共通） <u>○室内食（ビュッフェ）（朝食・夕食共通事項）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食堂用スリッパは撤去する。必要であれば室内履き等をご持参頂く。 ・ 食堂に入室後、手洗いの後、手指の消毒を行う。 ・ 喫食時のみマスクを外し、食後直ぐにマスクを着用する等、「MASK 飲食」及び「黙食」を推奨、推進する。 ・ <u>過度な密を避けるため、食堂内の定員を、概ね 100 名から 120 名程度とし、これを超える人数については入替とするが、様々な状況により、団体との調整及び合意の上、これ以上の定員での受入も可能とする。</u> ・ 喫食時の対面を避ける配席（テーブルの片側のみや、交互での配席等）を推奨する。 ・ <u>喫食時間は、入室から配膳、片付までを 45 分間とし、次の利用団体への入替と消毒作業のため、10 分間のインターバルを置く。</u> ・ 原則として、1 団体で占有利用することを基本とするが、家族利用や小グループ利用が重なる場合には、十分な距離を確保した配席により、同時利用を可とする。 ・ <u>レーンからの配食は、1 団体が占有している場合はその団体に属する大人（教員や保護者、食事責任者等）が盛り付ける。（手袋、替えのトングなどを食堂から提供する）</u> なお、家族や小グループ、またはそれらの同時利用の場合には、配席したそれぞれ

~~いる場合はその団体に属する大人（教員や保護者、食事責任者等）が盛り付ける。~~

~~（手袋、替えのトンダなどを食堂から提供する）~~

~~なお、家族や小グループ、またはそれらの同時利用の場合には、配席したそれぞれのテーブル毎に、料理を入れた食缶~~

~~（入れ物）をセットし提供する。~~

- ドリンクバーは、原則としてボタン操作前に消毒を行った上で、~~団体に属する大人（教員や保護者、食事責任者等）がボタン操作を行い、感染防止と利用時間の節減を行う。~~

また、混雑の際に列の間隔を保つための立ち位置表示をする。

れのテーブル毎に、料理を入れた食缶（入れ物）をセットし提供する。

- ドリンクバーは、原則としてボタン操作前に消毒を行った上で、団体に属する大人（教員や保護者、食事責任者等）がボタン操作を行い、感染防止と利用時間の節減を行う。

また、混雑の際に列の間隔を保つための立ち位置表示をする。